

正誤表（現況分析（教育））

68：鳴門教育大学

No.	現況分析単位 (学部・研究科等)	頁数	誤	正	修正事由
01	01_学校教育学部	P.2	「NICES (ナイス)」を構築している	「NICES (ナイス)」を構築している。 <u>。</u>	脱字のため修正
02	01_学校教育学部	P.7	事務担当課等の各担当窓口の外に	事務担当課等の各担当窓口の <u>他</u> に	誤字のため修正
03	01_学校教育学部	P.10	(国際交流ボランティア)」を実施している。(6801-iA-3)	(国際交流ボランティア)」を実施している。 <u>(別添資料 6801-iA-3)</u>	脱字のため修正
04	01_学校教育学部	P.10	合わせて延べ 44 人が参加) (6801-iA-4)	合わせて延べ 44 人が参加) <u>(別添資料 6801-iA-4)</u>	脱字のため修正
05	02_学校教育研究科	P.2	教職実践高度化系の系を超えて	教職実践高度化系の <u>性</u> を超えて	誤字のため修正
06	02_学校教育研究科	P.5	ディスプレイなどが設置している。2018 年度には、・・・ICT の定義」を定め、以来毎年度、	ディスプレイなど <u>を</u> 設置している。2018 年度には、・・・ICT の定義」を定め、 <u>以来</u> 毎年度、	誤字のため修正
07	02_学校教育研究科	P.9	2016 年度は 3 件のプログラムにおいて 3 地域へ 11 名を派遣したが、2018 年度は 8 件のプログラムにおいて 8 地域へ 28 名を派遣しており、プログラムを拡充させている。 (2019 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったプログラムがあったが 9 件のプログラ	2016 年度は 3 件のプログラムにおいて <u>2 地域に</u> 11 名が参加したが、2018 年度は 8 件のプログラムにおいて 8 地域 <u>に</u> 28 名が参加しており、プログラムを拡充させている。 (2019 年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったプログラ	エビデンス資料 6802-iA-4 と差異があるため修正 誤字のため修正

正誤表（現況分析（教育））

			ムに 22 名を派遣した。	ムに 22 名が参加した。)	
08	02_学校教育研究科	P.11	鳴門市内校園に対する	鳴門市内 <u>の</u> 校園に対する	脱字のため修正
09	03_高度学校教育実践専攻	P.2	180 名に大幅され,国内有数の	180 名に大幅に <u>拡大</u> され,国内有数の	脱字のため修正
10	03_高度学校教育実践専攻	P.13	教員職員免許状と教職修士（専門職）の	教 <u>育</u> 職員免許状と教職修士（専門職）の	誤字のため修正